

多文化社会専門職機構 2022年度事業報告書

I. 全体運営

2022年度は機構設立5年度目（任意団体設立時から6年度目）にあたり、下記のとおりに中期目標を設定し、事業・プログラムを実施した。

○ 中期目標（2021～2023年度）

- ・ 組織基盤の強化（新規会員の獲得、事務局の充実、財源の安定）
- ・ 多様なプログラム展開（さまざまなニーズに対応した研修・ネットワーキングプログラムの提供）
- ・ 認定者・会員の参加によるプログラム展開とそれによる社会的認知度の向上

II. 事業

1. 認定事業

多文化社会の問題解決を通じて「多文化共生」社会の実現に貢献する専門職として、多文化社会コーディネーター、相談通訳者の認定事業を行った。

1) 多文化社会コーディネーター認定プログラム

隔年で実施。2017年度、2019年度、2021年度に続いて2023年度に実施予定。

2) 相談通訳者認定プログラム

2021年度につづき、第4回認定試験を実施した。新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、二次試験（筆記、実技・面接）の日程を2022年3月12日-13日から5月15日に変更した。

担 当 理 事 : 阿部裕

コーディネーター : 新居みどり

対 象 言 語 : 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、フィリピン語、ロシア語、タイ語、インドネシア語、クメール語、ミャンマー語、フランス語、ベンガル語

応 募 者 数 : 19名

一 次 合 格 者 数 : 18名

最 終 合 格 者 : 7名（ベトナム語2名、クメール語1名、タガログ語1名、中国語1名、ポルトガル語1名、ミャンマー語1名）

実 施 日 程 : 一次試験結果通知 2022年2月上旬

二次試験（筆記、実技・面接） 2022年5月15日

2. 実践研究事業

1) 多文化社会コーディネーター基礎研修

2019 年度まで実施してきた「多文化社会コーディネーター協働実践研究」に代わって、多文化化するさまざまな現場で働く実践者（実務家）を対象に、コーディネーターとしての力量形成を図るためのプログラムとして実施した。

担 当 理 事 : 山西優二

コーディネーター : 菊池哲佳

講師・ファシリテーター : 菊池哲佳、小山紳一郎、高柳香代、長尾晴香、中野玲子、野山広、松尾慎、松岡真理恵、萬浪絵理、山西優二

実 施 日 時 : 2022 年 8 月 21 日（日）・8 月 22 日（月）10:00-17:00

実 施 方 法 : オンライン

参 加 者 数 : 8 名

2) 地域日本語教育コーディネーター研修【文化庁委託事業】

自治体施策・国際交流協会事業・市民活動等の現場で、地域日本語教育コーディネーターとして地域日本語教室を運営することができる人材を育成することを目的として実施した。

担 当 理 事 : 伊東祐郎

コーディネーター : 菊池哲佳

実 施 コ ー ス : ① 地域日本語教育コーディネーターコース
② 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進のためのコーディネーターコース
③ 地域日本語教育コーディネーターフォローアップコース

修 了 者 数 : ① 41 名（東日本地域 22 名、西日本地域 19 名）

② 6 名

③ 69 名

3) 多文化社会コーディネーター協働実践研究

2019 年度まで実施してきた「多文化社会コーディネーター協働実践研究」に代わって、多文化化するさまざまな現場で働く実践者（実務家）を対象に、コーディネーターとしての力量形成を図るためのプログラムとして実施した。

担 当 理 事 : 松岡真理恵

コーディネーター :

実 施 方 法 : オンライン

実 施 日 : 2022 年 7 月 30 日 (土) 20:00~21:15

参加者: 菊池哲佳、高柳香代、中野玲子、松岡真理恵、山西優二

2022 年 8 月 30 日 (土) 19:00~21:00

参加者: 菊池哲佳、鈴木恵梨香、高柳香代、中野玲子、ベティ
ーナ・ギルデンハルト、松尾慎、松岡真理恵、山西優二、和田貴子

2022 年 9 月 27 日 (土) 19:00~21:30

参加者: 有田玲子、石谷泰枝、菊池哲佳、鈴木恵梨香、中野玲子、奈良雅美、松尾慎、松岡真理恵、山西優二、和田貴子

2022 年 10 月 18 日 (火) 20:00~21:30

参加者: 石谷泰枝、菊池哲佳、長尾晴香、中野玲子、奈良雅美、松岡真理恵、山西優二、和田貴子、渡戸一郎

2022 年 11 月 8 日 (火) 20:00~21:30

参加者: 菊池哲佳、中野玲子、奈良雅美、野山広、和田貴子、松岡真理恵、山西優二

3. 社会発信事業

1) 第6回多文化社会実践研究フォーラム

2018 年から 3 年にわたり、「多文化社会における市民活動と専門職」を中期的テーマに据え、「多文化社会を問う」「多文化社会における市民活動を問う」「多文化社会における専門職を問う」と毎年テーマを設定し、議論を深めた。その最終年となる 2021 年度は「多文化社会における専門職を問う」をテーマとして実施した。

担 当 理 事 : 阿部裕、青山亨、中村亮、山西優二

コーディネーター: 実行委員

テ ー マ : 新たに見えてきた多文化社会の課題
—ウクライナ・アフガニスタン・ミャンマーなどからの難民・避難民への対応を踏まえて—

実 施 日 時 : 2022 年 12 月 17 日 (土) 15:00~18:30

2022 年 12 月 18 日 (日) 10:00~16:00

実 施 方 法 : 東京外国語大学 (東京都府中市朝日町 3 丁目 1 1-1)
シンポジウムのみハイフレックス

参 加 者 数 : 91 名

2) ウェブサイト運営

ウェブサイトで当機構や当機構が認定する専門職、当機構が実施する事業を紹介し、それらの社会的認知の向上を図るとともに、本機構の取り組みに参加・協力する人々のすそ野の拡大を図った。また、会員によるコラムを掲載し、多文化社会の課題等について発信した。

担 当 理 事 : 青山亨

コーディネーター : 高柳香代

W E B コ ラ ム : 〈18〉変化する NPO・ボランティアと中間支援組織のあり方を考える (渡戸一郎)
〈19〉若者のための多文化共生入門―地方都市における多文化共生の地域 (斉藤雄大)
〈20〉コーディネーターとしての自治体職員の役割と TaSSK へ期待すること～多文化社会コーディネーター協働実践研修に参加して～ (浅井里依子)
〈21〉佐賀県の地域日本語教育に関わって思うこと～佐賀県日本語学習支援“カスタネット”の活動とともに～ (貞松明子)
〈22〉いざ! 多文化共生活動第2ステージへ? (栗木梨衣)
〈23〉地域日本語教育と多文化社会 (萬浪絵理)
〈24〉あのときの私がいたから、今の私がある (有田玲子)
〈25〉ソーシャルワークという仕事 (丸山文)

3) 広報資料の作成

リーフレットを作成し、ウェブサイトに掲載する予定であったが、実施しなかった。

4. その他本機構の目的を達成するために必要な事業

1) ジャーナル発行に関する検討会

担 当 理 事 : 野山広

コーディネーター : 松尾慎

実 施 計 画 : 下記①～④のうち③または④については今後も引き続き検討することとする。

- ① 商業出版として発行
- ② 商業出版社に委託して発行
- ③ ウェブサイトに随時 (または定期的に) 掲載
- ④ 電子ジャーナルを発行 「名古屋多文化共生研究会」を参考に、③を検討する。

[\(https://sites.google.com/site/nagoyaams/\)](https://sites.google.com/site/nagoyaams/)

2)「対話の場づくり」プログラム

会員同士のネットワークづくりと学びの場として、会員向け「TaSSK 多文化オンラインカフェ」を下記のとおりを実施した。

担 当 理 事 : 松岡真理恵

コーディネーター: 貞松明子、ベティーナ・ギルデンハルト、萬浪絵理

多文化カフェ概要: 実施日: 不定期。実施時間は1時間。

形 式: オンライン

対 象: 会員及び会員の紹介者(紹介は1会員につき3名程度まで)

内 容: 会員や会員が誘ったゲストにより、話題提供をしてもらい、それについて議論する。参加者の議論の場・学びの場とする。

参加費: 無料

多文化カフェ実績: 2022年4月24日(日)9:30~10:30

テーマ: 今、問いなおす「看護職と多文化共生～頑張りと困惑」

話題提供者: 岡本美代子

参加者: 9名

2022年5月22日(日)9:30~10:30

テーマ: 「日本語ボランティア養成講座」のあり方

話題提供者: 貞松明子

参加者: 16名

2022年7月31日(日)9:30~10:30

テーマ: 社会と大学の連携～win-winの学び合いの関係とは?

話題提供者: 三代純平

参加者: 10名

2022年8月29日(月)19:30~20:30

テーマ: 難民的背景をもつ人々と学び合う日本語活動

話題提供者: 松尾慎

参加者: 12名

2022年9月28日(水)19:30~20:30

テーマ: 諸刃の剣?—多文化共生推進におけるボランティア活動

話題提供者: ベティーナ・ギルデンハルト

参加者: 11名

2022 年 11 月 24 日（木）19:30～20:30

テーマ：相談事業の体制構築と課題

話題提供者：丸山文

参加者：11 名

2023 年 1 月 28 日（土）19:30～20:30

テーマ：外国につながる子どもの教育支援における自治体政策の差異はなぜ生まれているのか

話題提供者：渡戸一郎

参加者：12 名

2023 年 2 月 22 日（水）19:30～20:30

テーマ：ネイティブ相談通訳の悩み

話題提供者：山浦育子

参加者：14 名

3) 講師派遣プログラム

多文化社会の問題解決に携わる人々の資質や専門性の向上、および多文化共生推進に寄与するために、研修やイベントでの講師を派遣した。

担 当 理 事： 菊池 哲佳

コーディネーター： 高柳 香代

派 遣 実 績： ① 2022 年 6 月 21 日（火）

目 的：令和 4 年度宮崎県地域日本語教育体制整備事業第 1
回地域日本語教育コーディネーター研修

依頼者：（公財）宮崎県国際交流協会

派遣者：菊池 哲佳

② 2022 年 7 月 23 日（土）

目 的：ISO セミナー登壇謝礼

依頼者：（一社）通訳品質評議会

派遣者：菊池哲佳

③ 2023 年 1 月 21 日（土）

目 的：令和 4 年度静岡県における地域日本語教育推進セ
ミナー

依頼者：静岡県

派遣者：菊池哲佳

④ 2023 年 3 月 19 日（日）

目 的：多文化共生マンスリーセミナー

依頼者：茨城県八千代町

派遣者：菊池哲佳

4) 市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会への協力

「市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会」に協力した。実行委員会に菊池が企画委員として参加し、企画及び広報に協力した。

名 称： 市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会 2022

主 催： （特非）日本ボランティアコーディネーター協会

市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会実行委員会

日 時： 2022 年 12 月 17 日（土）13：30-16：30

2022 年 12 月 18 日（日）9：30-15：30 2022 年

場 所： リアル会場（東京・京都・大阪）&オンライン

参加者数： 148 人

Ⅲ. 組織体制

○ 役員

代 表 理 事： 阿部 裕（四谷ゆいクリニック）

副代表理事： 青山 亨（東京外国語大学）

中村 亮（弁護士）

山西 優二（早稲田大学）

理 事： 伊東 祐郎（国際教養大学専門職大学院）

菊池 哲佳（仙台観光国際協会）＊事務局長

奈良 雅美（アジア女性自立プロジェクト）

新居 みどり（NPO 国際活動市民中心（CINGA））＊事務局次長

野山 広（国立国語研究所）

松岡 真理恵（浜松国際交流協会）

山浦 育子（荒川区国際交流協会）

監 事： 関 聡介（弁護士）

栗木 梨衣

○ 多文化社会専門職機構 運営体制の見直しについて

2022 年 5 月 25 日

■ 背景

- ・ 事業・プログラムの拡大
- ・ 運営委員会・事務局の負担増大
- ・ 会員の事業・プログラム運営への参加という課題

■ 運営体制の見直し案

(1) 事業・プログラムの運営について

- ・ 各プログラムは担当理事及び運営委員が中心となって実施する。

(2) 組織運営体制について

(運営委員会)

- ・ 現行の運営委員会を解消し、運営委員会は各プログラムの担当理事・運営委員で構成する。
- ・ 運営委員は担当理事から会員への個別の声掛け、総会や ML 等を通じての呼びかけにより募り、代表理事が委嘱する。
- ・ 総会後に運営委員会名簿を作成する。また、運営委員会 ML を設ける。ただし、各プログラムの運営に関する情報交換は運営委員会 ML ではなく、各プログラムに関わる担当理事・運営委員が個別に連絡方法を検討する。
- ・ 運営委員会規定は当面は策定せず、運営委員会が軌道に載った頃に実態に即して策定する。

(認定委員会)

- ・ 運営委員会とは別に、認定委員会を設置する。認定委員会を運営委員会とは別に設置する理由は、TaSSK の主要事業である認定事業について、対外的にも公平性を担保する必要性があるため。
- ・ 認定委員会の設置に関して、認定委員会規定を策定する。認定委員会規約は、中村理事、関監事、事務局にて案（現行の認定委員会規約の修正）を作成する。

以上

2022年度多文化社会専門職機構 収支決算書（案）

単位：円

科目	決算	用途
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	410,000	
個人会員受取会費	410,000	10,000円×41人
事業収益	13,689,978	
1 認定事業		
1-1 多文化社会コーディネータープログラム	0	
1-2 相談通訳者認定プログラム	70,000	R3年度相談通訳認定料（10,000円×7人）
2 実践研究事業		
2-1 多文化社会コーディネーター基礎研修	92,000	参加費（12,000円×7人、8,000円×1人）
2-2 多文化社会コーディネーター協働実践研究	0	
2-3 文化庁地域日本語教育コーディネーター研修	10,713,221	R4年度文化庁事業請求額（別紙1 文化庁業務収支決算書参照）
	1,001,677	R3年度文化庁返納金差額分
3-1 第6回多文化社会実践研究フォーラム	198,000	参加費（3,000円×35人、2,000円×25人、500円×6人、1,000円×21人）交流会費（500円×38人）
3-2 ウェブサイト運営	0	
4 その他事業		
4-1 ジャーナル発行に関する検討会	0	
4-2 「対話の場づくり」プログラム	0	
4-3 講師派遣	170,340	
5 地域日本語教育コーディネーター研修事業		
5-1 佐賀県地域日本語教育コーディネーター研修	1,444,740	
受取補助金等	0	
受取民間補助金	0	
受取寄付金	0	
受取寄付金	0	
雑収益	68	
受取利息	68	
経常収益計	14,100,046	
(2) 経常費用		
事業費	11,158,591	
1 認定事業	0	
1-1 多文化社会コーディネータープログラム	0	
1-2 相談通訳者認定プログラム	0	
2 実践研究事業	11,873,288	
2-1 多文化社会コーディネーター基礎研修	15,440	外部講師謝金15,000円×1人、支払手数料
2-2 多文化社会コーディネーター協働実践研究	0	
2-3 文化庁地域日本語教育コーディネーター研修	9,717,376	R4年度文化庁事業請求額（別紙1 文化庁業務収支決算書参照）
	41,508	法定福利費
	3,900	外部講師謝金3,900円×1人
3 社会発信事業	55,573	
3-1 第6回多文化社会実践研究フォーラム	55,573	外部講師謝金10,000円×2人、Peatix決算処理費用、交流会準備費等
3-2 ウェブサイト運営	0	
4 その他事業	126,240	
4-1 ジャーナル発行に関する検討会	0	
4-2 「対話の場づくり」プログラム	0	
4-3 講師派遣	126,240	講師派遣謝金4件分
5 地域日本語教育コーディネーター研修事業	1,198,554	
5-1 佐賀県地域日本語教育コーディネーター研修	1,198,254	
佐賀県支払差額	300	
管理費	761,337	
	761,337	
諸謝金		
事務局業務謝金	120,000	1,600円×5時間/月×12か月+年度末会計業務謝金24,000円
社会保険労務士業務謝金	220,000	20,000円×11か月
印刷製本費	26,020	コピー代
消耗品費	110	印鑑代
租税公課	31,059	印紙代等
賃借料	253,202	家賃24万、鍵付きロッカー利用料金
通信運搬費	55,166	事務局携帯電話利用料金、郵送料
支払手数料	6,040	振込手数料
旅費	3,100	交通費
雑役務費	46,640	Zoom使用料
経常費用計	11,919,928	
当期経常増減額	2,180,118	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	0
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用	0	0
一般社団法人にかかる経費	0	0
経常外費用計	0	0
当期経常外増減額	0	
税引前当期一般正味財産増減額	2,180,118	
法人税、住民税	70,000	都民税均等割70,000円
当期一般正味財産増減額	2,110,118	
一般正味財産期首残高	1,768,847	
一般正味財産期末残高	3,878,965	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産期末残高	3,878,965	

貸 借 対 照 表

一般社団法人 多文化社会専門職機構
全事業所

[税込] (単位 : 円)
2023年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	126,540
現 金	182,239	未払法人税等	70,000
普 通 預 金	6,938,941	預 り 金	3,134,015
		流動負債 計	3,330,555
		【固定負債】	
		長期借入金	0
		固定負債 計	0
		負債の部合計	3,330,555
		正 味 財 産 の 部	
		【正味財産】	
現金・預金 計	7,121,180	前期繰越正味財産額	1,768,847
(売上債権)		当期正味財産増減額	2,110,118
未 収 金	88,340	正味財産 計	3,878,965
売上債権 計	88,340	正味財産の部合計	3,878,965
流動資産合計	7,209,520		
資産の部合計	7,209,520	負債・正味財産の部合計	7,209,520

財 産 目 録

一般社団法人 多文化社会専門職機構

[税込] (単位 : 円)

2023年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	182,239
ゆうちょ銀行 普通預金	2,287,009
三菱UFJ銀行 普通預金	4,651,932

現金・預金 計	7,121,180
---------	-----------

(売上債権)

未 収 金	88,340
売上債権 計	88,340

(その他流動資産)

前払 費用	0
その他流動資産 計	0
流動資産合計	7,209,520

資産の部 合計	7,209,520
---------	-----------

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	126,540
未払法人税等	70,000
前 受 金	0
預 り 金	3,134,015
流動負債 計	3,330,555

【固定負債】

借入金	0
固定負債 計	0

負債の部 合計	3,330,555
---------	-----------

正味財産 計	3,878,965
--------	-----------

多文化社会専門職機構 2023年度事業計画書

I. 全体運営

2023年度は機構設立6年度目（任意団体設立時から8年度目）にあたる。2018年度から2020年度までの3年間は「2020年以降を見据えた基盤整備」を中期目標として組織運営を行ってきた。また、2021年度から2023年度までの3年間は下記のとおりに中期目標を掲げて取り組んできた。今年度はその最終年度にあたる。引き続き中期目標の達成に向けて取り組みつつ、これまでの振り返りと来年度以降の目標設定について今年度中に検討する必要がある。

○ 中期目標（2021～2023年度）

- ・ 組織基盤の強化（新規会員の獲得、事務局の充実、財源の安定）
- ・ 多様なプログラム展開（さまざまなニーズに対応した研修・ネットワーキングプログラムの提供）
- ・ 認定者・会員の参加によるプログラム展開とそれによる社会的認知度の向上

II. 事業

1. 認定事業

1-1. 多文化社会コーディネーター認定プログラム

2021年度につづき、第4回認定試験を実施する。

担 当 理 事： 松岡真理恵

運 営 委 員： 菊池哲佳、高柳香代、長尾晴香、松尾慎、萬浪絵理

実 施 日 程：	受験者募集	2023年 10月～12月頃
	プレゼンテーション、面接試験（オンライン）	2024年 1月 下旬
	認定者決定、審査結果通知	2024年 1月 末頃

1-2. 相談通訳者認定プログラム

2021年度につづき、第5回認定試験を実施する。

担 当 理 事： 中村亮、山浦育子

運 営 委 員： 阿部裕、岩田久美、高田友佳子、新居みどり、三木紅虹、宮城京子

実 施 日 程：	筆記・実技審査（2次試験）（東京都内）	2023年 10月 下旬
	認定者決定、審査結果通知	2023年 11月

2. 実践研究事業

2-1. 多文化社会コーディネーター協働実践研究会

多文化社会の問題解決、コーディネーターとしての力量形成を図るためのプログラムとして実施する。今年度から広く会員に呼びかけて実施する。参加にあたっては、各自が実践課題・実践研

究課題を持ち、実践研究論文の作成を目指すことを前提とする。

担 当 理 事： 松岡真理恵

運 営 委 員：

実 施 日 程： 月に1回程度（参加者で日程調整）。

実 施 方 法： オンライン

参 加 資 格： TaSSK 会員であること。

参加者は実践課題・実践研究課題を持ち、実践研究論文の作成を目指すことを前提とする。（初回のみオブザーバー参加可）

2-2. 相談通訳者協働実践研究会

相談通訳者が社会で活躍するために、相談通訳者の役割や専門性、環境整備のための方策等について研究する。

担 当 理 事： 阿部裕、新居みどり

運 営 委 員： 岩田久美、三木 虹紅、宮城京子、山浦育子

実 施 日 程： 参加者で日程調整

実 施 方 法： オンライン

2-3. 多文化社会コーディネーター基礎研修

2019 年度まで実施してきた「多文化社会コーディネーター協働実践研究」に代わって、多文化化するさまざまな現場で働く実践者を対象に、コーディネーターとしての力量形成を図るためのプログラムとして隔年で実施する。2022 年度に実施したことから、次回は 2024 年度に実施する。

担 当 理 事： 菊池哲佳

2-4. 相談通訳者研修

相談通訳者に求められる役割や専門性について、研修会を開催する。

担 当 理 事： 阿部裕、新居みどり

運 営 委 員： 岩田久美、三木 虹紅、宮城京子、山浦育子

実 施 日 程： 第1回 2023 年 7 月 26 日（水）

- ・ 相談通訳とは、通訳の心構え
- ・ 心の相談対応+自分のこころのケア

第2回 2023 年 8 月 23 日（水）

- ・ 相談通訳の大切にしていること
- ・ 在留知識の基礎知識

2-5. 地域日本語教育コーディネーター研修【文化庁委託事業】

自治体施策・国際交流協会事業・市民活動等の現場で、地域日本語教育コーディネーターとして地

域日本語教室を運営することができる人材、および総括コーディネーターとして地域日本語教育体制整備に携わる人材を育成することを目的に、文化庁より委託を受けて実施する。

担 当 理 事 : 伊東祐郎

運 営 委 員 : 菊池哲佳、新居みどり

実 施 日 程 :	検討委員会 第 1 回	2023 年 5 月 15 日 (月)
	地域日本語教育 Co.・総括 Co. 研修募集開始	2023 年 6 月 5 日 (月)
	地域日本語教育 Co.・総括 Co. 研修募集しめきり	2023 年 6 月 30 日 (金)
	検討委員会 第 2 回 (受講者決定)	2023 年 7 月 12 日 (水)
	地域日本語教育 Co. 研修 夏期Ⅱ (東日本)	2023 年 8 月 28 日 (月)
	総括 Co. 研修 夏期Ⅱ	2023 年 8 月 29 日 (火)
	地域日本語教育 Co. 研修 夏期Ⅱ (西日本)	2023 年 8 月 30 日 (水)
	検討委員会 第 3 回	2023 年 10 月 上旬
	フォローアップ研修	2023 年 10 月 20 日 (金)
	地域日本語教育 Co. 研修 秋期 (東日本)	2023 年 11 月 10 日 (金)
	総括 Co. 研修 秋期	2023 年 11 月 13 日 (月)
	地域日本語教育 Co. 研修 秋期 (西日本)	2023 年 11 月 17 日 (金)
	検討委員会 第 4 回	2024 年 2 月 下旬
	地域日本語教育 Co. 研修 冬期 (東日本)	2024 年 2 月 5 日 (月)
	地域日本語教育 Co. 研修 冬期 (西日本)	2024 年 2 月 6 日 (火)
	総括 Co. 研修 冬期	2024 年 2 月 16 日 (金)
	検討委員会 第 5 回	2024 年 3 月 上・中旬

2-6. ジャーナル発行に関する検討会

担 当 理 事 : 野山広

運 営 委 員 : 松尾慎、三代純平、山西優二

実 施 計 画 : 『多文化社会と実践研究』(仮称)

(1) 2023 年 : 0 (ゼロ) 号の公開に向けて

- ・ 第 6 回多文化社会実践研究フォーラムでの発表、報告及び 2022 年度の実践研究会 (オンライン) での発表、報告の中から執筆候補者を選出して依頼する。
- ・ 3 本～5 本の論文執筆後に、1 本あたり 2 人以上で担当、内容確認、対話・精読を行う。
- ・ 第 7 回多文化社会実践研究フォーラム前に Web サイト上で公開する。

(2) 2023 年 12 月～2024 年 : 創刊号の作成、構築に向けて

- ・ 第 7 回多文化社会実践研究フォーラムでの発表、報告及び 2023 年度の実践研究会 (オンライン) での発表、報告の中から執筆候補者を 3

本～5本選出して依頼する。その他、会員から公募する。

- ・ 3本～5本の論文執筆後に、タスクメンバーにて、1本あたり2人以上で担当、内容確認、対話・精読を行う。
- ・ 2024年6月の総会前にWebサイト上で公開する。

＊編集の方向性：通常の査読付き論文のイメージではないもの

3. 社会発信事業

3-1. 第7回多文化社会実践研究フォーラム

多文化社会の諸課題について時事的なテーマを取り扱うとともに、当機構の実施する実践研究事業・認定事業における成果を発信する場として開催する。

担 当 理 事： 阿部裕、青山亨、中村亮、山西優二、

運 営 委 員：

テ ー マ： (今後検討予定)

実 施 日 程： 2023年12月16日(土)

2023年12月17日(日)

実 施 場 所： 東京外国語大学

参 加 費： (今後検討予定)

3-2. ウェブサイト運営

担 当 理 事： 青山亨

運 営 委 員： 菊池哲佳、高柳香代

実 施 計 画： ① WEBコラム：会員がリレー方式で定期的に掲載

WEBコラム<26> 2023年6月30日(金) 福田彩

WEBコラム<27> 2023年7月31日(月) 江崎章子

WEBコラム<28> 2023年8月31日(木) 岩田久美

WEBコラム<29> 2023年9月29日(金) 高田友佳子

WEBコラム<30> 2023年10月31日(火) 会員より募集中

WEBコラム<31> 2023年11月30日(木) 会員より募集中

WEBコラム<33> 2024年1月31日(水) 会員より募集中

WEBコラム<34> 2024年2月29日(木) 会員より募集中

② 講師派遣プログラム(Web会議システムでの研修含む) 広報

③ 年報の掲載

3-3. 団体紹介資料の作成

リーフレットを作成し、ウェブサイトに掲載する。

4. その他本機構の目的を達成するために必要な事業

4-1. 「対話の場づくり」プログラム

担 当 理 事 : 菊池哲佳

運 営 委 員 : 貞松明子、ベティーナ・ギルデンハルト、萬浪絵理

実 施 計 画 : ① 多文化カフェ（会員向けオンラインサロン）

第15回 2023年 4月22日（土）19:30-20:30 話題提供：入倉眞佐子

第16回 2023年 5月20日（土）19:30-20:30 話題提供：菊池哲佳

第17回 2023年 7月14日（金）19:30-20:30 話題提供：土井佳彦

② 会員向けニュースレター（メールマガジン）配信（3か月ごと）

4-2. 講師派遣プログラム

担 当 理 事 : 菊池哲佳

運 営 委 員 : 有田玲子

実 施 計 画 : ウェブサイトで研修講師の派遣について広報する。

- ・ 「講師派遣申込書」（案）は別紙参照
- ・ 謝金の30%を多文化社会専門職機構事務局、70%（源泉徴収後）を講師が受け取る。
- ・ 謝金は原則として、基本料金は90分：50,000円（消費税込55,000円）とする。ただし、会員からの依頼や、開催趣旨に特に講師が賛同する場合には、相談に応じる。また、依頼団体が独自に講師謝金支払いの規程がある場合には応相談とする。
- ・ 旅費交通費は実費を直接講師に支払うこととする（事前振込または当日現金払い）

4-3. 市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会への協力

2022年度につづき「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会」に協力する。社員が実行委員会に企画委員として参加し、企画及び広報に協力する。

集会名 市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会（JVCC2024）

主 催 認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会 実行委員会

開催日 2024年2月23日（金・祝）・24日（土）

Ⅲ. 組織体制

○ 役員

代 表 理 事 : 阿部裕 (四谷ゆいクリニック)

副代表理事 : 青山亨 (東京外国語大学)

中村亮 (弁護士)

山西優二 (早稲田大学名誉教授)

理 事 : 伊東祐郎 (国際教養大学専門職大学院)

菊池哲佳 (仙台観光国際協会) *事務局長

奈良雅美 (アジア女性自立プロジェクト)

新居みどり (NPO 国際活動市民中心 (CINGA)) *事務局次長

野山広 (国立国語研究所)

松岡真理恵 (浜松国際交流協会)

山浦育子 (荒川区国際交流協会)

監 事 : 栗木梨衣

関聡介 (弁護士)

○ 事務局

有田玲子 (東京にほんごネット)

菊池哲佳 (仙台観光国際協会) *事務局長

高柳香代 (多文化共生ネット・九州／移住労働者と共に生きるネットワーク・九州)

新居みどり (国際活動市民中心) *事務局次長

IV. 2023 年度事業、プログラム実績・予定（月別）

年月	内容
2023 年 4 月	多文化カフェ（15）（4/22（土））
2023 年 5 月	- 文化庁委託地域日本語教育 Co. 研修 検討委員会①（5/15（月）） - 多文化カフェ（16）（5/20（土）） - 第 1 回理事会（5/22（月））
2023 年 6 月	- 総会（6/18（日）） - 第 2 回理事会（6/18（日）） - WEB コラム＜26＞（6/30（金））
2023 年 7 月	- 文化庁委託地域日本語教育 Co. 研修 検討委員会①（7/12（水）） - 多文化カフェ（17）（7/14（金）） - 第 1 回相談通訳者研修（7/26（水）） - WEB コラム＜27＞（7/31（月））
2023 年 8 月	- 第 2 回相談通訳者研修（8/23（水）） - 文化庁委託地域日本語教育 Co. 研修 夏期Ⅱ（東日本）（8/29（火）） - 文化庁委託総括 Co. 研修 夏期Ⅱ（8/30（水）） - 文化庁委託地域日本語教育 Co. 研修 夏期Ⅱ（西日本）（8/31（木）） - WEB コラム＜28＞（8/31（木））
2023 年 9 月	WEB コラム＜29＞（9/29（金））
2023 年 10 月	文化庁委託地域日本語教育フォローアップ研修（10/20（金））
2023 年 11 月	- 文化庁委託地域日本語教育 Co. 研修 秋期（東日本）（11/10（金）） - 文化庁委託総括 Co. 研修 秋期（11/13（月）） - 文化庁委託地域日本語教育 Co. 研修 秋期（西日本）（11/17（金））
2023 年 12 月	第 7 回多文化社会実践研究フォーラム（12/16（土）-17（日））
2024 年 1 月	多文化社会コーディネーター認定試験（二次試験）（1 月下旬）
2024 年 2 月	市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会（2/23（祝）-24（土））
2024 年 3 月	

2023年度 一般社団法人 多文化社会専門職機構 収支予算書（案）

単位：円

科目	決算	用途
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	600,000	
個人会員受取会費	600,000	10,000円×50人、過年度未収会費10人
賛助会員受取会費	0	
事業収益	16,800,849	
1. 認定事業		
1-1. 多文化社会コーディネーター認定プログラム	90,000	30,000円×3人
1-2. 相談通訳者認定プログラム	300,000	30,000円×10人
2 実践研究事業		
2-1. 多文化社会コーディネーター協働実践研究会	0	
2-2. 相談通訳者協働実践研究会	0	
2-3. 多文化社会コーディネーター基礎研修	0	2023年度実施予定なし
2-4. 相談通訳者研修	60,000	2,000円×30人
2-5. 地域日本語教育コーディネーター研修	15,900,849	文化庁委託事業
2-6. ジャーナル発行	0	
3 社会発信事業		
3-1. 多文化社会実践研究フォーラム	300,000	3,000円×80人、2,000円×30人
3-2. ウェブサイト運営	0	
3-3. 団体紹介資料作成	0	
4 その他事業	0	
4-1. 対話の場づくりプログラム	0	
4-2. 講師派遣	150,000	30,000円×5件
受取補助金等	0	
受取民間補助金	0	
受取寄付金	0	
受取寄付金	0	
雑収益	0	
受取利息	0	
経常収益計	17,400,849	
(2) 経常費用		
事業費	15,791,940	
1. 認定事業	300,000	
1-1. 多文化社会コーディネーター認定プログラム	0	
1-2. 相談通訳者認定プログラム	300,000	外部講師謝金、交通費
2. 実践研究事業	15,216,940	
2-1. 多文化社会コーディネーター協働実践研究会	0	
2-2. 相談通訳者協働実践研究会	0	
2-3. 多文化社会コーディネーター基礎研修	0	2023年度実施予定なし
2-4. 相談通訳者研修	50,000	協力者謝金、交通費
2-5. 地域日本語教育コーディネーター研修	15,124,940	人件費、協力者謝金・交通費等
	42,000	法定福利費
2-6. ジャーナル発行	0	
3. 社会発信事業	160,000	
3-1. 多文化社会実践研究フォーラム	100,000	謝金、印刷費、郵送費
3-2. ウェブサイト運営	50,000	委託費
3-3. 団体紹介資料作成	10,000	
4. その他事業	115,000	
4-1. 対話の場づくりプログラム	10,000	協力者謝金
4-2. 講師派遣	105,000	協力者謝金21,000円×5件
管理費	1,516,000	
諸謝金		
事務局業務謝金	360,000	30,000円×12か月
社会保険労務士業務謝金	220,000	
税理士業務謝金	50,000	
消耗品費	1,000	
租税公課	500,000	消費税
賃借料	264,000	事務所経費22,000円×12か月
通信運搬費	60,000	事務局携帯電話利用料金、郵送料
支払手数料	6,000	
旅費	5,000	
雑役務費	50,000	Zoom使用料
経常費用計	17,307,940	
当期経常増減額	92,909	
2. 経常外増減の部	0	
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
一般社団法人にかかる経費	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
税引前当期一般正味財産増減額	92,909	
法人税、住民税	70,000	
当期一般正味財産増減額	22,909	
一般正味財産期首残高	3,878,965	
一般正味財産期末残高	3,901,874	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産期末残高	3,901,874	